

## 西岡地域の歴史を未来へ継承する取り組みとして、ホップの植栽を行いました



▲ 植栽式に参加したサッポロビール関係者と本学学生および役員



▲ ホップ苗はツリー状のモニュメントに沿って、一つ一つ丁寧に植栽されました

6月13日(月)、本学のSUcole(スコール)にてホップの植栽式が行われました。これは、2021年12月にオープンした新校舎SUcoleの竣工を記念したもので、また西岡地域の歴史を未来へ継承する取り組みの一つとして、本学がサッポロビール株式会社(以下 サッポロビール)と連携し実施したものです。

植栽式には、サッポロビールの森本光俊氏(上席執行役員・北海道本社代表兼北海道本部長)、半田輝雄氏(北海道本社北海道戦略営業部長)、栗原史氏(北海道本社北海道戦略営業部参事兼サッポロビール博物館長)のほか、本学の荒川裕生理事長、大森義行学長、さらに学生自治会に所属する学生3名、および女子サッカー部員5名などが参加し、SUcole西側玄関前に合計48株のホップ苗を植え付けました。ホップ苗は全てサッポロビールより無償提供されました。

### ■西岡地域でのホップ栽培の歴史

本学が開学した1967年当時、キャンパスの周辺にはサッポロビールの直営ホップ園がありました。その後、西岡地区の宅地化が進み、1973年にホップ園は閉園となりましたが、現在でもその跡地の一角(西岡3条8丁目13)に、同社が寄贈したモニュメントとホップのアーチを見ることができます。

## むかわ町と北海道鷓川高等学校との連携事業第1回交流会が実施されました

札幌大学は、地域創生を軸に、人材育成や関係人口の創出、高校および大学の魅力化などを目的として、むかわ町および北海道鷓川高等学校と包括連携協定を締結しています。その第1回の取り組みとなる交流会が、7月1日(金)に鷓川高校にて実施されました。

今回は、鷓川高校で行われている課題探求型学習「むかわ学」に参加する本学学生と高校生が対面でコミュニケーションを図り、今後の活動のための関係構築を目的として行われました。

短時間ながらも、活発に意見交換が行われ、互いに刺激を受けた様子でした。次回の交流会は8月を予定しています。



▲ 鷓川高校で行われた交流会の様子